

# 総会報告

## 伏屋敦弘副会長、猪俣貴志副会長が新たに就任！

9月14日午後3時半より、NTT中央研修センタ内6号館会議室にて役員総会を開催した。

定例の議題に加え、新たな役員として、新 副会長として伏屋敦弘氏(東日本電信電話(株)取締役)と猪俣貴志氏(西日本電信電話(株)取締役)をお迎えすることが決せられた。これまで永年にわたり連盟活動にご尽力頂いた黒田吉広副会長は、引き続き顧問にご就任頂くこととなった。出席頂いた伏屋氏からは弓道にまつわるエピソードを交えたご挨拶を頂き、総会出席者の拍手でお迎えた。

検討事案では、これまでも議論を重ねてきた今後の団体戦のあり方について、各支部へのアンケート等を経て意見集約し、第56回以降の本大会の骨格づくりを進めていくこととした。

### 【議事内容】

- (1)平成30年度連盟活動報告
- (2)平成30年度会計報告、会計監査報告
- (3)令和元年度役員選出(敬称略)  
新任 副会長: 伏屋敦弘、猪俣貴志  
顧問: 黒田吉広
- 退任 副会長: 黒田吉広、鳥越隆  
常任理事(総務担当): 小林心 相談役: 中畑幸吉
- (4)次年度活動計画・第55回全国大会実施概要・概算予算案
- (5)令和元年度予算案および年会費
- (6)第55回以降の大会主管  
次回主管: 北陸支部・ドコモ支部(共催)  
時期: 2020年秋(予定) 場所: 石川県(予定)  
以後の持ち回り予定: 56回中央、57回東海、58回データ
- (7)今後の団体戦のあり方について
- (8)各支部の活動状況報告(主に新入部員獲得への取り組みについて)
- (9)名誉顧問、顧問、相談役の近況



伏屋 新副会長



猪俣 新副会長

# 活動状況

- 昇段・昇格**
- ◆教士: 高本(データ)
  - ◆錬士: 廣木(関東)、池畑(関西)
  - ◆六段: 吉田(関西)
  - ◆五段: 林(データ)
  - ◆四段: 赤井(関西)、砂月(九州)、青山(データ)
  - ◆参段: 養手(ドコモ)
  - ◆二段: 宮崎(関西)
  - ◆初段: 江戸(九州)

## 支部活動

- 【中央支部】 在京支部と合同で月例会実施。三多摩勤労者大会、三多摩リーグ戦参加。東京都連・三地区の例会・選手権に個人活動として参加。会員獲得活動として、研究所武蔵野ロケサークルHP掲載。新入部員1名。
- 【東京支部】 全日本実業団大会で事業所対抗女子の部準優勝。全日本勤労者選手権大会に出場。会員獲得活動として、社内HPで東京エリアサークル新メンバー募集、社外HPによる随時部員募集。新入部員1名。
- 【関東支部】 千葉県実業団大会出場。千葉県勤労者大会出場。その他、各自、県連および協会支部にて活動。会員獲得活動は、弓道経験者情報の収集を試みているが、アプローチに至らず。
- 【信越支部】 平成30年度より休部の連絡あり。
- 【東海支部】 NTT-G全国大会予選会実施(参加者: 10名)。各地域での活動として、支部役員・講師を務めるほか、各地域の大会・講習会に参加。新規会員獲得活動として、練習拠点弓道場で声掛け実施。OB1名入部。
- 【北陸支部】 支部の活動は個人的なものだけであり、事務局運営もOBが行っている。各地域道場でNTTグループ社員を見つけ、声かけする形で現役メンバー増へ活動中。個人活動として、山本、正札が各地域の大会で上位入賞。
- 【関西支部】 大阪府実業団連盟に所属し、年数回の実業団大会に参加。他、個人活動で上位入賞。会員拡大活動として、休道者への声かけや、大阪府実業団連盟の特別措置として、一人で活動する他社メンバをNTT大阪として登録。
- 【四国支部】 愛媛県弓道連盟役員(村上敏、村上範、村上康)、徳島県弓道連盟役員(天野、福本)。愛媛県、徳島県の試合及び講習会への参加(村上範、村上敏、福本、高原、三宅、天野)など。
- 【九州支部】 全国大会のメンバー選抜を兼ねた九州大会開催。熊本地区は各種大会にNTTチームとして参加。広報活動としては、社内交流Webサイトへの投稿、グループ社内TV ニュース内での活動紹介を実施。新入部員2名。
- 【北海道支部】 札幌地区職域対抗弓道大会に参加(小田、栗城、岩瀬)。個人活動として地域の各種大会に参加。現役活動者1名になり、団体参加は絶望的。親がNTT社員等の弓道経験者に声かけしているが、地方の大会参加は厳しい。
- 【ドコモ支部】 神奈川県層別大会、全日本実業団大会、全日本勤労者大会への参加。大会前強化練習実施。その他個人活動。新規会員獲得施策としては、社内報(イントラネット)にて弓道部紹介、新入部員3名。
- 【データ支部】 月1回の月例射会と随時の研修会、合宿(東京支部と合同)。会員拡大に向けた取組として、社内公認サークル説明会参加、経験者掘り起こしの練習会企画、社員向け小笠原流・流鏑馬体験イベント等。新入部員4名。
- 【JIP支部】 月例練習会、合宿開催。全日本実業団大会に出場。新規会員獲得の取組として、親睦団体のクラブ説明会で紹介、採用訪問時に経験学生に弓道部の話をするよう人事部担当者に依頼、写真部とのコラボなど。

# 御礼

本大会の開催にあたり、(公財)全日本弓道連盟様およびNTTグループ内各社様(持株、東、西)からご後援を頂きました。  
**皆様のご厚情に感謝申し上げます**

# NTTグループ 弓道

第六十七号

令和元年10月19日発行  
東京都調布市入間町1-44  
NTTグループ弓道連盟  
発行責任者 頼政秀幸  
編集責任者 金子哲也  
撮影 窪田圭司

次回大会:  
第55回NTTグループ全国弓道大会  
主管: 北陸支部・ドコモ支部  
開催日: 2020年秋(予定)  
開催地: 石川県(予定)

## ◆◇第54回NTTグループ全国弓道大会、全弓連・中央道場にて開催◇◆

日本初開催となるラグビーワールドカップ開幕目前の今年は、東京支部主管にて実施。大会初日(開会式・懇親会)は本連盟本部を置くNTTグループ中央研修センタ(旧 中央学園)にて、本大会は弓道界の聖地ともいえる明治神宮内武道場・至誠館第二弓道場(全日本弓道連盟中央道場)に舞台を移して開催された。台風等天候面の懸念もなく、全日程秋らしい天候の下で行われ、大会初日には、若かりし頃に通った旧 中央学園の様相の変わり様に目を丸くされたOB諸兄の声や、大会二日目には、憧れであった中央道場で弓を引ける喜びの声があり、和やかな雰囲気の中、団体、個人ともに熱戦が繰り広げられた。

前夜祭となる懇親会では、恒例の決意表明のほか、応援に駆けつけてくださった高島宏一顧問らのご挨拶を交えながら、支部の枠を越えた会員相互の親睦を深めた。今回は、東京支部の取り計らいで、研修センタ内宿泊棟の幹旋もあり、夜は二次会、三次会と夜通しの懇親会が至る所で行われた模様。

翌大会本番は、前会長の島田明名誉顧問や黒田吉広副会長も駆けつけてくださり、射手 富澤明・教士七段(介添 岩田宗光・田中健二)による主管支部代表の矢渡の後、大会が幕を開けた。

団体戦は、的中率7割超で勝ち上がったデータ支部と、本大会団体戦優勝最多回数を誇る東京支部が決勝戦で激突。昨年初戦敗退の雪辱を果たすべく、高的中をたたき出したデータ支部が勝利をたぐりよせ、通算優勝回数を5回に伸ばし、通算優勝回数ランキングで関東支部と並び4位タイに躍り出た。

つづく個人戦優勝は、一部は頼政選手(4年連続)、二部は林選手(2年連続)とデータ支部から輩出し、三部は昨年の国際弓道大会称号者の部で2位となった本橋選手(東京支部)が、8射皆中で本大会個人部門初優勝。各部の個人優勝者同士で争う個人総合優勝決定戦では、射詰2射目からは昨年の決定戦で惜敗した頼政選手と本橋選手の一騎打ちとなり、2年連続で射詰4回で雌雄決さず。大会規定により遠近競射での決定戦に至り、的心を射抜いた頼政選手が通算2回目の個人総合優勝を獲得した。

## 大会結果 団体戦

【1回戦】本大会団体戦には11支部がエントリー、加えて現役諸氏に活を入れるべく、相談役各位5名からなる「本部チーム」が組成され、全12チームによるトーナメント戦が、東京・中央・九州・四国の4支部のシードで開始された。  
 <第1試合: 関東5-東海8> 関東支部が1射目でリードするが、その後伸び悩み東海支部が勝利した。  
 <第2試合: JIP7-ドコモ8> 4名で臨んだJIP支部だが、惜しくも1本届かずドコモ支部が勝利した。  
 <第3試合: 本部11-北陸5> 本部チームが終始北陸支部をリードし、貫禄の初戦勝利を収めた。  
 <第4試合: 関西6-データ14> データ支部が率先よく2名が皆中し、圧勝した。

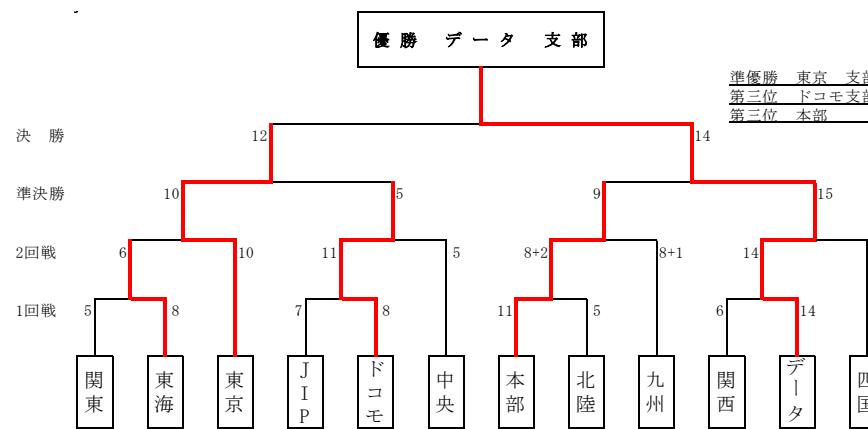
【2回戦】  
 <第1試合: 東海6-東京10> 今年度主管の東京支部が、伸び悩む東海支部に危なげなく勝利した。  
 <第2試合: ドコモ11-中央5> ドコモ支部が元気を取り戻して的中を伸ばし、シードの中央支部を圧倒した。  
 <第3試合: 本部8+2-九州8+1> 今大会唯一の同中競射の末、熟練の技が光った本部チームが、九州支部に競り勝った。  
 <第4試合: データ14-四国9> データ支部は3名が皆中し、シードの四国支部を圧倒した。

【準決勝】  
 <第1試合: 東京10-ドコモ5> これまでの2戦の疲れが見えたかドコモ支部が的中を伸ばせず、東京支部が危なげなく決勝に駒を進めた。ドコモ支部の3位が決定した。  
 <第2試合: 本部9-データ15> データ支部が前半10射9中するなど本部チームを終始圧倒し、今大会最高的中の15中で勝利した。本部チームの3位が決定した。

【決勝】  
 <東京12-データ14> 現役とOBが力をあわせ勝ち進んだ東京支部と、若いメンバ主体のデータ支部の強者同士の決勝戦となった。東京支部の二的・樋泉選手が団体戦3試合1本も外さず皆中、三的・河合選手も皆中するなど12中の高的中を出す、対するデータ支部は全員が2中以上の隙のない試合運びで東京支部を上回る14中を叩き出し、データ支部の通算5回目の優勝が決定した。最多優勝記録をさらなる上積みの期待がかかった主管・東京支部は、惜しくも準優勝となった。



団体戦 優勝 データ支部



# 大会結果 個人戦

## 【一部】参段以下 出場者37名

優勝	頼政 秀幸(データ)	5中	×○×○×○○○	競射○○
準優勝	成松 宏美(東京)	5中	××○○○○×○	競射○×
第三位	阿部 敏之(JIP)	4中	××××○○○○	遠近
第四位	大室 伸(中央)	4中	×○○×○××○	遠近
第五位	大林 正幸(ドコモ)	4中	○○×○×××○	遠近

## 【二部】四、五段 出場者29名

優勝	林 圭(データ)	7中	○○○○×○○○	
準優勝	山本 勝弘(東海)	6中	○×○○○×○○	遠近
第三位	肥田 健一郎(ドコモ)	6中	○○×○○○○×	遠近
第四位	村上 敏行(四国)	5中	○○○○○×××	遠近
第五位	柴田 克己(東海)	5中	×○×○○××○	遠近

## 【三部】称号者 出場者37名

優勝	本橋 秀夫(東京)	8中	○○○○○○○○	
準優勝	廣木 栄則(関東)	6中	××○○○○○○	遠近
第三位	岩瀬 泰則(北海道)	6中	××○○○○○○	遠近
第四位	野中 秀治(関西)	6中	○○×○○○○×	遠近
第五位	吉井 俊郎(九州)	5中	×○○×○×○○	

## 【個人総合優勝】

頼政 秀幸(データ)	射詰 4中	○○○○	大会規定により 遠近
------------	----------	------	---------------

# 特別賞

## 【優秀選手賞】

林 圭(データ)

## 【敢闘選手賞】

高木 富美(中央)	大井 朋子(東京)
廣木 栄則(関東)	牧野 雄一(東海)
小川 成子(北陸)	榎本 周久(関西)
三宅 凉代(四国)	岩瀬 泰則(九州)
八木 恵美(ドコモ)	阿部 敏之(JIP)
大光明 直孝(本部)	

## 【女子優秀賞】

成松 宏美(東京)

## 【名越賞】

頼政 秀幸(データ)

# 大会写真集



大会会長挨拶(北村会長) 黒田副会長 島田名誉顧問 選手宣誓(樋泉選手) 矢渡(富澤教士)



個人戦 各部入賞者



団体戦 準優勝 東京支部 団体戦 第三位 ドコモ支部 団体戦 第三位 本部

# 番外報告

例年の大会では、会場正面でご観戦されている正副会長等、連盟役員幹部層の皆様にも、NTT中央研修センタ武道館弓道場にて、弓道を体験していただきました。弓矢の扱いに四苦八苦しながらも、弓道への理解がより深まったようです。



個人戦一部優勝 頼政選手 個人戦二部優勝 林選手 個人戦三部優勝 本橋選手 女子優秀賞 成松選手  
個人総合優勝・名越賞